

経営比較分析表（令和4年度決算）

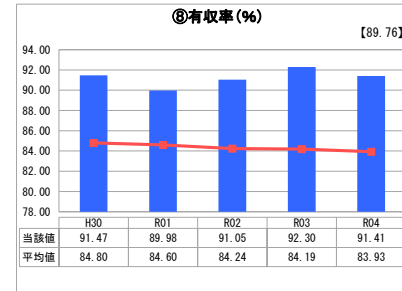
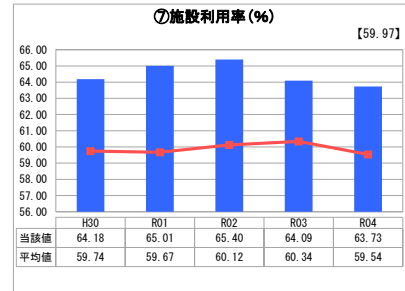
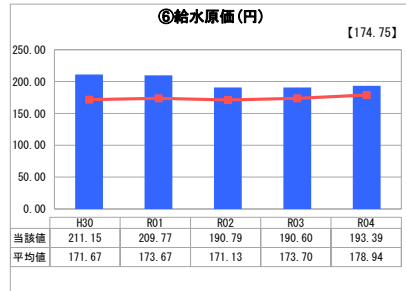
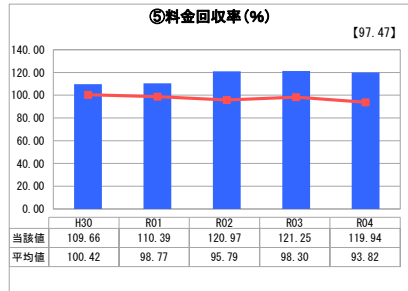
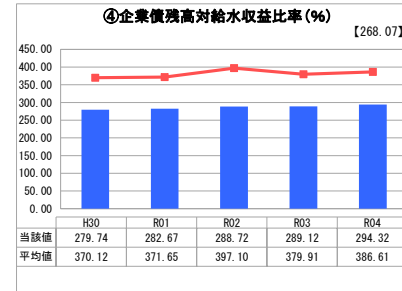
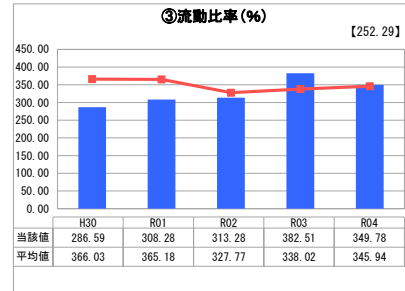
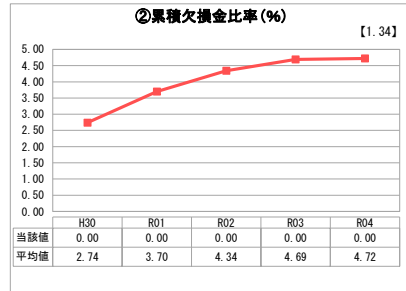
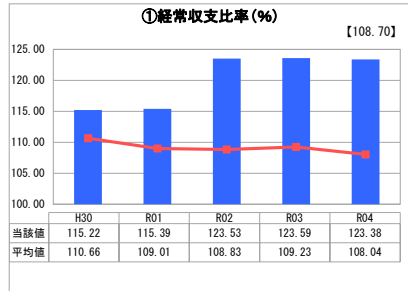
宮城県 亶理町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり客単料金(円)	
-	64.63	99.16	4,455	

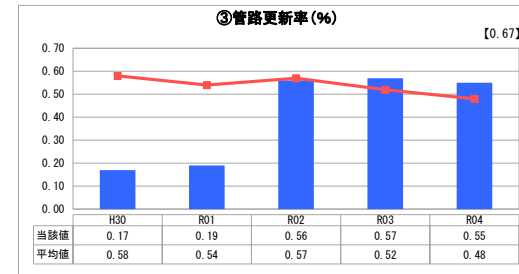
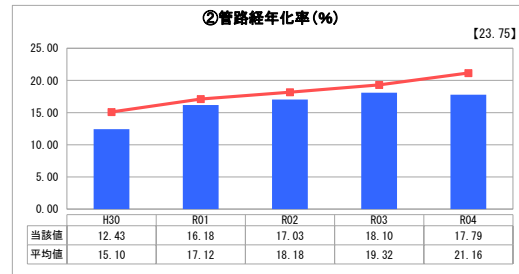
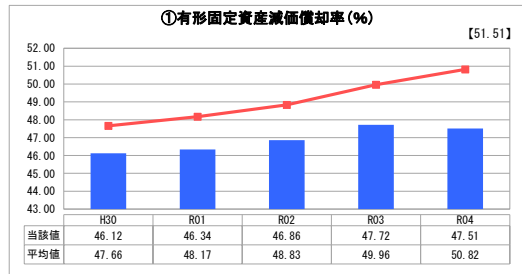
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,270	73.60	452.04
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
32,858	73.21	448.82

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

過年度や類似団体平均と比較しても、全体的に経営の健全性や効率性を維持できていると考える。
 ③流動比率については、過年度より減少したものの100%を大きく上回り、類似団体平均と同水準であるため、この状況を維持すべきと考える。
 ④企業債残高対給水収益比率については、積極的に管路や施設の更新を実施している結果であり、全体的な経営状況を鑑みながらマイナスと捉える必要はないと考える。
 ⑥給水原価は依然として類似団体平均を上回っているが、これは本町水道が9割を広域水道からの受水で随っており、今後とも広域水道と受水費について協議を重ね受水費が高騰しないようにしたい。また、広域水道に関わらない経費は、適切な支出をさらに心掛けたい。
 ⑧有収率については前年と比較して減少したものの、依然として高い水準であるため、適切な維持管理に努め今後も維持していきたい。

2. 老朽化の状況について

①、②ともに類似団体と比較して低いため、今後もこの状況を維持できるよう適切な維持管理、更新に努めたい。
 ③管路更新率については類似団体と比較して低率で推移してきたが、積極的に管路の更新を行った結果、類似団体平均を上回る水準まで上昇した。今後も経営状況を鑑みながら、計画的に施設の更新を実施したい。

全体総括

本町水道事業は全体的に健全な状況であるといえる。しかし、今後は更なる人口減少や節水器具の普及等により給水収益の伸びは期待できないが、ライフラインである以上事業を止めることもできない。そのため、より適切な経費の支出に努めつつ、有収率の維持や災害に強い水道施設構築のため、経営状態を考慮して計画的な施設の更新を実施していきたい。